広報とき 11 15 vol 1538



今回は「火災予防」です。

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節にな りました。火の取り扱いには十分注意し、大切 な命や財産を守りましょう。

■主な出火原因



平成23年版消防白書によると、こんろが原 因の火災のうち63.3%が消し忘れ、たばこが 原因の火災のうち57.3%が不適当な場所への 放置となっています。

■火災による死者の半分が"逃げ遅れ"

55.5%の人が「既に逃げ道がなかった」「逃げ る機会を失った」「逃げ切れなかった」などの "逃げ遅れ"が原因で死亡しています。そのう ち60.5%が65歳以上の高齢者です。

■火災予防

▷住宅用火災警報器を設置する

昨年6月1日から、住宅用火災警報器の設置 が義務付けられています。逃げ遅れを防ぐた めにも、寝室や階段などに設置しましょう。

▷防炎用品を使用する

火がカーテンなどに移り天井まで届くと消火 器での消火は難しく、じゅうたんなどに燃え 広がると逃げ道を塞いでしまう恐れがありま す。カーテンなどを防炎用品にすると、燃え にくいだけでなく、逃げるときに羽織って身 を守るのにも有効です。

▷放火の被害に遭わないために

①家の周りにある燃えやすいものは整理整頓 し、ごみは指定日の決められた時間に出す。 ②物置や車庫には鍵を掛け、簡単に出入りで きないようにする。③外出や就寝前に家や物 置の戸締まりを確認する。④アパートやマン ションでは、廊下や階段に燃えやすいものを 置かない。⑤自動車やオートバイのボディー カバーには防炎製品を使用する。⑥街灯など をつけ、家の周りを明るくして警戒する。

03 市政情報

固定資産税

福祉功労者を表彰/スポ少秋季大会結果 12月10日は人権デー/水道の防寒対策

- 06 情報ひろば/消費生活相談/相談窓口
- 08 読書の小径
- 09 エコライフ/あのときときは
- 10 ほほえみだより
- 11 健康ガイド
- 12 プラザイベントガイド

人口と世帯数〈10月末日現在〉()内は前月比

総人口 61.523人(-40人)

男 29,764人(-24人) 女 31,759人(-16人)

世帯数 23,540戸(+33戸)

火災と救急出動〈10月〉()内は1月からの累計

6件(21件) 火災発生 救急出動 190回(1.919回)

消すまでは 出ない行かない 離れない

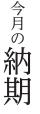
交通事故〈10月〉()内は1月からの累計

人身事故 14件(193件)

負傷者 19人(231人)

死亡者 0人(3人)

出たらダメ 事故を呼んでる 着信音



下水道事業受益者負担金(第3期)

納期限 11月30日(金)

下水道課(内線114・115)



防災無線が聞き取りにくい…

→メール配信サービスをご利用 ください(要登録)

電話でも確認できます テレフォンサービス ☎億7713